

第40回福井市景観審議会 意見一覧

夜間景観に関する意見

- ・作る人の創造性に働きかけることが必要、ガイドラインを作成し、その実効性をどこで担保するかが重要。
- ・福井市の基本理念を整理し、今一度市民に夜間景観の効果などを訴えていくことが重要と考える。
- ・暗がりや、生活からでてくる、小さなあかりも夜間景観として重要な要素。
- ・昼と夜とあわせて景観を計画していけるとよい。
- ・シンボルとなるような重要な位置に立つ建築物の夜間景観のあり方は、景観審議会で注視したり、場合によってはデザイン調整会議等からの意見により協力をお願いする必要もあるのではないかな。
- ・様々な住民の意見を聞いたうえで、アクションプランの検討が必要ではないかな。
- ・商店街のあかりなども更新の時期が迫ってきていると予想される。このようなタイミングでガイドラインがあることはよいことだと思うので、ガイドラインの見直しを検討してほしい。
- ・ガイドラインの作成や助成支援の体制を作るだけでなく、市民意識の向上や市民を巻き込むということと同時に考えていかないと全体として良くならない。
- ・伝統的保存地区のようにエリアで景観に対する規制を作り、一体的に景観を整えることが一つの方法として考えられるが、福井市には該当するようなエリアがなく、また規制した場合にも住民等の理解が得られるか、といった点も危惧される。
- ・夜になると公共交通機関がなくなるため、福井駅周辺から多くの人が帰らないといけなくなってしまふ、そういった状況をふまえて、福井市として夜間景観の形成が必要なのか、なぜ必要なのかといった根本的な議論も必要かと思う。
- ・ライトアップは一年中は不要かと思う、一定の時期を定めて、ライトアップをすればいいのではないかな。
- ・夜間景観は住民に対するものか、県外からの来られる方に対するものか。
- ・住民の意見を聞いてほしい。
- ・福井市全体が暗い、特に福井インターから降りたところが暗い。
- ・昔と比べて明るいと感じたが、足元は暗いと感じた。
- ・高いところから夜景を見た際に、光が乱立していると感じた。
- ・実効性を高める工夫をガイドラインとあわせて明確にする必要がある。
- ・全てに対して景観に対する調整を行うことはできないが、対象となる範囲を工夫するなどの検討を行う必要がある。
- ・一般的な市民に訴えかけるような、ガイドラインとするとよい。
- ・地元の人たちの様々な意見を聞くこと。
- ・ガイドラインで目指すべき部分、理念をしっかりと持つこと。エリアの特徴を明らかにして、その中で、本ガイドラインを作っていくこと。
- ・陰影や、グレアについて留意しつつ、足元を照らすなど安全面に配慮すること。
- ・高所から見る全体夜景についても検討できるとよい

その他の意見

- ・景観まちづくり事業補助金は、特にハード事業に対しての審査が緩く、拘束力もないためもったいないと感じる。
- ・まちの中での重要な場所での事業であれば、民間の事業であったとしても、専門家が意見をいえる体制があるべき。
- ・デジタルサイネージの設置基準（明るさや設置場所など）が必要。所管の監理課とは話をしているのか。
- ・簡単に木を切りすぎている。景観以前に、福井の人には、木だけでなく、建築物なども含めて、古いものを大事にして残していくっていう感覚を大切にしてほしい。
- ・夜遅くまで楽しめる場所が増えたと思うが、英語を話せる人が少ない。
- ・デジタルサイネージのあり方については、屋外広告物条例の審議会の中で適切に議論を進めてほしい、景観審議会でも引き続き協議を行い、ルール策定の際には景観の視点から意見を伝えるべき。